

コチョウラン

- 📌 分類：ラン科コチョウラン属
(ファレノプシス属)
- 🌍 原産：東南・南アジア、台湾、
オーストラリア
- 🔍 別名：ファレノプシス、モスオーキッド
- 🗓️ 開花期：4～6月

コチョウラン（胡蝶蘭）の名は、大きな蝶が舞っているような花びらの形からつけられました。花言葉の「幸福が飛んでくる」もそれがもとになっています。別名の「ファレノプシス」は、「蛾」「似る」という意味のギリシャ語を組み合わせたものです。鉢植えのコチョウランは「幸せが根づく」といわれ、さまざまなお祝いによくおられます。

花言葉
幸福が飛んでくる
(白)清純

コラム

命がけでランを探さず「オーキッドハンター」

19世紀、ヨーロッパでランが大ブームになり、ラン専門のハンター「オーキッドハンター」が登場しました。彼らは賞金のために世界中をまわり、ときには命がけで新種のランをさがしました。コチョウランの発見もそのころとされています。

レンギョウ

- 📌 分類：モクセイ科レンギョウ属
- 🌍 原産：中国、日本、朝鮮半島
- 🔍 別名：レンギョウウツギ(連翹空木)、イタチグサ(鼬草)
- 🗓️ 開花期：3～4月

細長い枝いっぱいに、黄色の小花を咲かせるレンギョウは、満開になると木の全体が黄色にかがやきます。桜と同じく、花のあとに葉をつけるのがとちょうです。春をつける花として、「期待」「希望」という花言葉がつけられたようです。実は漢方薬として使われています。



花言葉
期待、希望



花言葉
充足、節制、
あなたに愛されて幸せ
(ピンク)青春の喜び

アザレア

- 📌 分類：ツツジ科ツツジ属
- 🌍 原産：ベルギー
- 🔍 別名：セイヨウツツジ(西洋躑躅)、
オランダツツジ(阿蘭陀躑躅)
- 🗓️ 開花期：4～5月

アザレアはベルギー原産ですが、じつは江戸時代から明治時代にかけて、日本からヨーロッパにわたったヤマツツジやサツキを鉢植え用に改良した花です。乾燥してやせた土でも育つことから、「充足」「節制」の花言葉が生まれました。名前もラテン語の「アザロス(乾燥)」に由来します。



アヤメ

- 📌 分類：アヤメ科アヤメ属
- 🌍 原産：日本をふくむ北東アジア
- 🔍 別名：アイリス
- 📅 開花期：5～6月

ギリシャ神話に出てくる神々の王ゼウスの求愛にこまったイリスが、虹をわたる女神のすがたに変えてもらったというお話から、虹をわたって便りが届くイメージが花言葉*となりました。アヤメはイリスの化身とされ、別名「アイリス」の由来となっています。

*ギリシャ神話で語られているのは、地中海沿岸地域原産のアヤメ(ジャーマンアイリス)です。

花言葉 よい知らせ、希望

コラム

アヤメ、カキツバタ、ハナショウブの見わけかた

同じアヤメ科の3つの花は、すがたがほとんど変わりませんが、花びらのつけ根で見わけることができます。あみ目のような細い線がたくさん入っているのがアヤメ。白いすじが入っているのがカキツバタ。黄色いすじが入っているのがハナショウブです。



花言葉 幸福がくる、おくり物

カキツバタ

- 📌 分類：アヤメ科アヤメ属
- 🌍 原産：日本、朝鮮半島、中国、シベリア
- 🔍 別名：カオヨグサ(貌佳草)
- 📅 開花期：5～6月

カキツバタを漢字で書くと「燕子花」です。「杜若」とも書きます。「燕」の字が使われているのは、花の開き方がツバメの飛び立つすがたに似ているためです。ツバメが巣をつくる場所には、幸運が舞いこんでくるといわれ、この鳥は幸運の象徴とされてきました。そのいつたえが花言葉にあらわれています。

ハナショウブ

- 📌 分類：アヤメ科アヤメ属
- 🌍 原産：日本、朝鮮半島、中国、シベリア
- 🔍 別名：ギョクセンカ(玉簪花)
- 📅 開花期：6～7月

ハナショウブ(花菖蒲)は、梅雨の時期に花が咲きます。雨に打たれながら咲くはなやかなすがたが、「優雅」という花言葉の由来です。江戸幕府の旗本・松平定朝は、ハナショウブの育成に力を入れ、数十年にわたり改良を重ねて、たくさんの品種を生み出しました。



花言葉 ゆうが 優雅、やさしい心



冬

ふゆ

花言葉
祝福、幸運を祈る、
私の心は燃えている



ポインセチア

- 分類：トウダイグサ科トウダイグサ属
- 原産：メキシコ
- 別名：ショウジョウボク(猩々木)、クリスマス・フラワー、ノーチェ・ブエナ
- 開花期：11～2月

⚠ 樹液に触れると危険

赤い花びらのような部分は苞で、まん中の小さな花を守っています。クリスマスカラーの赤・緑・白はそれぞれキリストの血・永遠の命や愛・純潔をあらわすといわれ、苞・葉・樹液の色がこれらにあてはまるポインセチアは、クリスマスにかかせません。名前は、メキシコからアメリカに花を持ち帰った政治家で植物学者のポインセットに由来します。

コラム

メキシコの先住民のあいだでは「清純の花」

ポインセチアはクリスマスの花というイメージが強いのですが、原産地メキシコの先住民のあいだでは、清らかさをあらわすシンボルでした。また、茎を切ると出る白い樹液は、熱を下げる薬として使われていました。実際には、皮膚に炎症を起こすので注意が必要です。

スノードロップ

- 分類：ヒガンバナ科ガランサス属
- 原産：ヨーロッパ
- 別名：ガランサス、マツユキソウ(待雪草)
- 開花期：2～3月

下向きに咲くスノードロップは、名前のおり雪のように白い花です。楽園を追い出されたアダムとイヴが雪のふるさむい冬に悲しんでいたところ、天使が「もうすぐ春がくるから」と雪をスノードロップに変えてなぐさめたというキリスト教の伝説があります。この話が花言葉の由来です。



花言葉
希望、なぐさめ

クリスマスローズ

- 分類：キンポウゲ科クリスマスローズ属
- 原産：ヨーロッパ、地中海沿岸など
- 別名：カンシャクヤク(寒芍薬)、ユキオコシ(雪起こし)、ヘレボルス、レンテンローズ
- 開花期：12～4月

花言葉は、ギリシャでこの花の原種が精神安定の薬として使われたことにちなみます(実際は猛毒)。また、クリスマスにちなんだ伝説もあります。キリストが生まれたとき、お祝いにおくるものがないと泣く少女の前に天使があらわれ、雪の下からこの花が咲きました。少女はそれをキリストにささげたそうです。



⚠ 毒があるので注意

花言葉
不安をやわらげて、
なぐさめ